

幼小中つながる通信 vol.75

発行：令和 2 年 6 月 25 日 袋井市教育委員会

幼小がつながり「学びに向かう力」を育てる



小学校 1 年生の学級活動の様子です。学級目標について話し合っています。先生が決めるのではなく、自分たちがどんな学級にしたいのか、子どもの本音がぶつかります。

意見をまとめようと説明する子。その説明を聞き入る子。話し合う姿は真剣そのものです。思いの込められた学級目標の出来上がりが楽しみです。

学びの原点は幼児教育

本市では「学びに向かう力（好奇心やがんばる力）」の育成を目指しています。その原点は幼児教育にあります。

遊びや活動を通して、興味や関心が持てることを増やしていきます。その中で、友達の考えを聞き入れたり、自分の考えを伝えたりすることができるようになっていき、その積み重ねが小学校での学習につながっていくのです。

キーワードは「自分ごと」

幼稚園の遊びや活動でも、学校の学習でも、キーワードとなるのは「自分ごと」です。子ども自身が、遊び、活動、学習をいかに自分の思いや考えに根差した「自分ごと」としてとらえ取り組んでいるかが、学びに向かう力の育成を大きく左右します。子どもの意欲を尊重し、思考を促すことで、子どもはもっとやってみたい、もっと知りたいという意欲をもち、その意欲の高まりが考える力を身に付ける原動力となります。

